

# 令和2年度当初予算 主要事業

## — 未来を創る、確かな一歩 —

人口・少子化対策と災害への備えの強化、そして更なる観光振興やまちの玄関口の整備など、  
将来を見据えた「課題解決」に向け、まちづくりは新たな段階へ。

「笑顔あふれるまち」を目指す「第7次小樽市総合計画」の予算化初年度となる令和2年度の主な事業を、総合計画の「まちづくり 6つのテーマ」に沿って示します。

※《関連公約》と表示している項目は、市長公約の進捗に資する施策です（市長公約は別紙参照）。

## I 安心して子どもを生み育てることのできるまち（子ども・子育て）

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
<b>妊娠・出産・子育て支援の充実 《関連公約 1-① 子育て世代包括支援センターの設置》</b>				
◎	子育て世代包括支援センター整備事業費	妊娠・出産・子育てに関する相談に応じるワンストップ拠点として、子育て世代包括支援センターを保健所内に開設（令和2年9月開設予定）	8,500	保健所
◎	子育て世代包括支援センター事業費		2,000	保健所
◎	子育て支援情報配信事業費	子育て支援事業・予防接種・乳幼児健康診査等のタイムリーな子育て情報の配信と、母子の健康管理データの記録ができるスマートフォン用アプリを導入	660	福祉部
	不妊検査助成事業費	保健医療機関で実施した不妊検査に要した費用（自己負担分）について、2万円を上限に助成	1,000	保健所
◎	産後サポート事業費	生後5～6か月の第1子を持つ母親が集まり、参加者同士の交流を深めながら、保健師等による相談支援を行う。	330	保健所
☆	こども医療助成費（市単独分）	令和2年8月から、市民税課税世帯の未就学児の通院費について、助成を拡大し、自己負担を現行の1割負担から初診時一部負担金のみと、全ての未就学児の医療費を実質無料化	74,626	医療保険部
☆	ひとり親家庭等医療助成費（市単独分）		18,210	医療保険部
☆	重度心身障害者医療助成費（市単独分）		700	医療保険部
<b>保育人材の確保と保育所の安全確保 《関連公約 1-① 保育環境の整備》</b>				
◎	子育て支援員研修事業費	保育施設において保育補助業務を行うことができる人材を育成する「子育て支援員研修」（地域保育コース・地域型保育）を実施	1,100	福祉部
	保育所等防犯対策強化整備費補助金	保育所等の防犯対策に対する補助 ・日赤保育所 フロック塀撤去及び防犯柵設置 ・相愛保育所 電気錠設置	3,141	福祉部
<b>児童発達支援センターの充実 《関連公約 1-② 障がいのある子どもの支援》</b>				
☆	管理代行業務費等（さくら学園）	児童発達支援センター「小樽市さくら学園」の管理代行業務。療育支援のニーズの高まり等に対応し、令和2年度から職員を増員して定員を20名から28名に拡大	82,232	福祉部
<b>ひとり親家庭などへの支援 《関連公約 1-② 生活困窮世帯の子どもの学習支援》</b>				
	子どもの学習・生活支援事業費（生活サポートセンター分）	ひとり親家庭、生活保護世帯、生活困窮世帯の中学生を対象として、学習の支援や困りごと相談に応じるなど生活支援を実施	949	福祉部
	子どもの学習・生活支援事業費（こども福祉課分）		3,792	福祉部
☆	母子・父子家庭自立支援給付金支給事業費補助金	ひとり親家庭の自立の促進を図るための資格を取得することを支援。令和2年度から対象資格に臨床検査技師、臨床工学技師、言語聴覚士、歯科技工士、診療放射線技師、はり師、きゅう師、柔道整復師、視能訓練士、義肢装具士、自動車整備士、理容師、栄養士、精神保健福祉士を追加	24,387	福祉部

学校教育の充実 《関連公約 1-③ スクールカウンセラー拡充、教育機器整備など学習環境を改善》				
	ふるさとキャリア教育推進事業費	子どもたちが「ふるさと小樽」のよさに気づき、自己の将来を考える機会を設けることで、小樽の将来を担う人材育成を目指す。 ・教材「おたるの歴史」を活用した出前講座 ・遊覧屋形船における講話 ・キャリア教育出前授業 ほか	600	教育部
☆	学校図書館整備費（小学校）	読書習慣の確立のため学校司書を増員し、学校図書館の整備を推進するとともに、正しい情報に触れる環境整備のため、学校図書館の図書購入・更新のほか、新学習指導要領の全面実施に合わせ、小学校の図書館に新聞1紙を配備	11,739	教育部
☆	スクールカウンセラー関係経費	不登校児童生徒の増加を踏まえ、スクールカウンセラーを2名から3名に増員。全小学校に月1回派遣し、定期的に教育相談を行う機会を設ける。	2,554	教育部
◎	教育情報化推進事業費（小学校）	ICTを活用した教育を推進する、国の「GIGAスクール構想」を実現するため、全小中学校に高速大容量の通信ネットワークを整備するとともに、タブレット端末を1人1台体制に向けて段階的に整備	260,660	教育部
◎	教育情報化推進事業費（中学校）		175,490	教育部
学校の耐震化や老朽化対策の推進				
◎	学校施設等長寿命化計画策定事業費	「公共施設等総合管理計画」に基づく個別施設計画として、小中学校施設の中長期的な維持管理費の削減や機能・性能確保のため、「小樽市学校施設等長寿命化計画」を策定	4,700	教育部
	校舎等耐震診断経費（小学校）	耐震診断未実施の学校施設に対する耐震診断を実施 ・忍路中央小（校舎・屋内運動場）	8,000	教育部
◎	校舎等耐震補強等事業費（塩谷小）	校舎の耐震補強工事に向けた実施設計	9,000	教育部
◎	校舎等耐震補強等事業費（潮見台中）	校舎の耐震補強工事、暖房改修工事等	283,019	教育部
	トイレ改修事業費（中学校）	潮見台中学校の老朽化したトイレを洋式化へ改修	58,299	教育部
◎	屋内運動場大規模改造事業費（長橋小）	長橋小学校の屋内運動場の大規模改造工事 ・外壁、屋根、床の改修 ・トイレの洋式化 ・暖房設備の更新 ・照明のLED化	210,614	教育部

## II

## 誰もがいきいきと健やかに暮らせるまち（市民福祉）

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
<b>地域福祉の推進</b>				
	地域福祉計画策定事業費	個別の福祉分野を横断して地域の福祉向上のための基本的な事項等を定める「小樽市地域福祉計画」を策定。 ・各福祉分野から選出された委員による策定委員会を開催 ・テーマ別ワークショップ、住民懇談会により地域生活の課題を把握 ・地域福祉セミナーを開催し、意見聴取や周知啓発を行う	1,480	福祉部
	ボランティア育成事業費補助金	地域福祉推進の担い手である、地域住民によるボランティア団体等の活動や運営を支援する「小樽市ボランティア・市民活動センター」（社会福祉協議会に設置）に対する補助	2,320	福祉部
<b>高齢者の生きがいづくりの推進 《関連公約 2-③ 「ふれあいパス」の継続》</b>				
	ふれあいパス事業費	70歳以上の市民に対し、「ふれあいパス」（バス乗車証又はJR特殊乗車券）を交付。令和2年度は、バス運賃改定分を市で負担し現行制度を維持するとともに、令和3年度からの制度見直しを検討	259,000	福祉部
<b>高齢者を地域で支える仕組みづくり 《関連公約 2-⑧ 「地域包括ケアシステム」の構築》</b>				
◎	高齢者保健福祉計画等策定事業費	令和3年度から5年度までを計画期間とする小樽市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定	450	医療保険部
☆	認知症地域支援・ケア向上事業費	認知症の方とその家族を支援するため、「認知症カフェ」の開催のほか、令和2年度は、状態に応じた適切なサービス提供の流れを示す「認知症ケアパス」の作成、認知症の人同士のつながりを築くミーティング、自動車学校と連携した高齢者向け安全運転講習会を実施	5,798	医療保険部
<b>健康危機管理体制の整備</b>				
☆	感染症等予防対策費	インフルエンザ、エイズ、性感染症等、各種感染症の予防対策。30～50歳代の男性を中心とする風しんの増加に対応し、昨年度から対象年齢の男性（S37.4.2～S54.4.1生）に、風しん抗体検査のクーポン券を配布	14,000	保健所
☆	各種予防接種費	小児の定期接種や、高齢者等のインフルエンザ予防接種に対する助成など、各種予防接種に要する経費。令和2年10月からロタウイルスワクチンが定期接種化され、生後6週～32週までの乳幼児を対象に実施	226,000	保健所
<b>健康づくり施策の推進 《関連公約 2-② 健康寿命を延ばし、生涯現役社会を目指す》</b>				
☆	特定健康診査等事業費	国保加入者の特定健康診査の受診率向上のため、9月までの早期受診者全員に（10月以降は抽選）QUOカードを贈呈するほか、北海道国保連合会の集団委託事業により、勸奨文書を送付	70,718	医療保険部
	がん検診推進事業費	子宮頸がん、乳がんの各クーポン券の配布のほか、受診勧奨等を行い、がん検診の受診率向上を図る。	1,400	保健所
	受動喫煙対策促進事業費	令和2年4月から多数の者が利用する施設の喫煙が一部を除き禁止されるため、飲食店を対象とする説明会や、受動喫煙による健康影響等のポスター・パンフレットによる周知などを実施	350	保健所

### Ⅲ

## 強みを生かした産業振興によるにぎわいのまち（産業振興）

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
<b>森林整備の推進</b>				
◎	森林環境整備事業費	森林環境譲与税の導入に伴う森林整備等の一環として、長期未整備の私有林の現況調査や、旭展望台周辺環境の整備、旧手宮線への道産材のベンチ設置などを実施	11,500	産業港湾部
<b>地場産業の活性化と地場産品の販路拡大 《関連公約 3-① 一次産品の高付加価値化、商品開発支援、国内外への販路拡大》</b>				
◎	浅海増養殖振興対策事業費補助金	新たな栽培漁業推進のため、小樽市漁業協同組合が行うナマコの種苗生産に対する補助	300	産業港湾部
	水産物ブランド化推進事業費	小樽の地魚や水産加工品の知名度アップと消費拡大、水産加工品の新商品開発やブランド化を図る取組を行う。 ・新商品開発販売モデル支援 ・第4回小樽水産加工グランプリ開催 ほか	2,900	産業港湾部
	稼ぐ力向上実践事業費	市内及び後志管内の食料品関係事業者を対象として、全国規模の商談会への参加、商品特性や供給能力に適した新たな販路の開拓及び販売の実践、商品の磨き上げ相談を実施	6,700	産業港湾部
	海外販路拡大支援事業費	札幌市との連携事業による海外物産展や展示商談会への出展支援、ベトナムへの輸出事例創出のための現地商談、中国定期コンテナ航路を活用した販路開拓の可能性を探るため企業訪問等を実施	2,000	産業港湾部
<b>中小企業の支援と創業の促進 《関連公約 3-③ 新規開業や事業承継の支援など中小企業・小規模事業者を振興》</b>				
☆	中小企業振興会議運営経費	中小企業振興基本条例に規定する「施策の基本方針」の具体化に向けた検討に資する取組として、セミナー等を実施	1,000	産業港湾部
◎	中小企業等実態調査事業費	中小企業が抱える事業承継などの課題や現状を把握するため、中小企業へのアンケート調査を実施	550	産業港湾部
	創業支援事業費	新規創業者に対して、事業開始に係る家賃や内外装工事費の一部を補助。令和2年度は、内外装工事費補助の限度額を中心4商店街での創業は1,500千円、その他は500千円に変更。利子補給は廃止	16,000	産業港湾部
<b>於古笈川店舗の解体</b>				
◎	於古笈川店舗等解体経費	老朽化した於古笈川店舗C棟及び同棟横共同便所を解体し、護岸補修と転落防止柵設置を行う。	47,000	産業港湾部
<b>企業誘致の推進</b>				
◎	企業誘致サポート事業費	全国の企業（製造業、物流業、卸売業、IT関連等）へのアンケート調査と、本市に関心を持つ企業へのヒアリング等を、専門機関への委託により実施	1,650	産業港湾部
<b>日本遺産を活用した地域活性化 《関連公約 3-⑨ 北前船寄港地の魅力発信》</b>				
	日本遺産地域活性化事業費	日本遺産を活用した地域活性化の取組を実施 ・「北前船」…寄港地で開催される物産展への出展、市内小学生のフェリーでの加賀市訪問など ・「炭鉄港」…統一的なデザインによる構成文化財の案内・解説板整備など	1,700	産業港湾部
<b>海水浴場の施設整備</b>				
◎	トイレの洋式化等整備事業費（蘭島・銭函海水浴場）	蘭島海水浴場及び銭函海水浴場に設置しているトイレの洋式化と、外観及び内部の改修による美化を行う。	14,000	産業港湾部
<b>将来を見据えた観光戦略の取組 《関連公約 3-⑧ 観光関連組織の見直し》</b>				
◎	DMO専門人材派遣事業費補助金	「地域DMO」（戦略的な観光地づくりを行う組織）の設立に向けて、その受け皿となる小樽観光協会に、マーケティング担当の専門人材の派遣に要する経費の一部を補助	5,500	産業港湾部
◎	観光基礎調査事業費	事業所調査を実施し、本市の産業連関表を作成するとともに、観光客の動態及び観光消費状況から、観光が地域に及ぼす経済効果を分析する。	6,000	産業港湾部
	観光税導入検討事業費	観光税の令和3年度導入に向け、有識者会議の開催や、他都市との情報交換等を実施	170	産業港湾部

国内外への観光プロモーション 《関連公約 3-④ 札幌市との経済交流強化と後志の町村との連携促進》				
	ロケツーリズムによるシティプロモーション事業費補助金	ロケとご当地グルメの祭典「全国ふるさと甲子園」に出展して、映像制作関係者などにロケ地としてのPRを行う。また、観光情報アプリ「めぐるっと」を活用したロケツーリズムコースの紹介や、本市が舞台の漫画「聖樹のパン」との連携イベントを実施	1,000	産業港湾部
◎	さっぽろ連携中枢都市圏観光協議会負担金	札幌市を中心とする12市町村で構成する「さっぽろ連携中枢都市圏」で組織した観光協議会への負担金。外国人観光客を中心とした道外からの旅行者の誘客に向け、圏域として魅力を発信する各種連携事業を実施	300	産業港湾部
☆	外国人観光客誘致広域連携事業費補助金	札幌市や運輸局、後志の他市町村と連携し、外国人観光客の誘致活動を行う実行委員会への補助。これまでの「東アジア圏等観光客誘致広域連携事業」を拡大し、欧米豪もターゲットとする。 ・台湾・香港・タイの情報発信力のある人物を招請 ・ドイツ・フランスのメディア招請による酒と食のプロモーション ほか	1,500	産業港湾部
☆	観光誘致促進事業費補助金	小樽観光協会が行う、国内外の観光客誘致や滞在時間延長を図るための各種事業に対する補助。 ・新潟観光協会との連携によるアメリカへのプロモーション ・ロシア・ウラジオストクへのプロモーション ほか	7,000	産業港湾部
「みなと観光」拠点の創出 《関連公約 3-⑥ 「みなと観光」の新たな魅力づくり 4-④ 第3号ふ頭の整備》				
	国直轄工事費負担金（第3号ふ頭岸壁改良事業費）	老朽化した施設の長寿命化及び大型客船の接岸を可能とするための改良工事 ・16号岸壁 陸上地盤改良ほか ・17号岸壁 海上地盤改良ほか ※国直轄事業 令和2年度全体工事費 1,155,000千円（うち市負担 1/3=385,000千円）	385,000	産業港湾部
	国直轄工事費負担金（第3号ふ頭泊地改良事業費）	岸壁の老朽化と合わせ、水深確保により大型客船の接岸を可能とするための泊地しゅんせつを実施 ・17号岸壁前面泊地 クラブしゅんせつ（V=5,600m <sup>3</sup> ） ※国直轄事業 令和2年度全体工事費 120,000千円（うち市負担 1.5/10=18,000千円）	18,000	産業港湾部
◎	クルーズターミナル整備事業費	第3号ふ頭の既存貨物上屋（市営上屋33号）の一部を改良し、クルーズ船寄港時におけるCIQ審査のための旅客施設を整備 ・令和2年度 実施設計及び地質調査 ・令和3年度 上屋改良工事	15,400	産業港湾部
◎	駐車場等基盤整備事業費	第3号ふ頭の上屋解体跡地に、クルーズ船客の円滑な移動を確保するバス・タクシー等の駐車場を整備 ・令和2年度 実施設計及び測量 ・令和3年度 舗装、照明等整備工事	12,300	産業港湾部
港湾計画の改訂				
	港湾計画改訂事業費	小樽港の20～30年後における方針を示す「長期構想」の策定及び環境予測調査を行った上で、今後10～15年間の施設整備等の計画である「港湾計画」を令和2年度中に改訂	54,520	産業港湾部
港湾施設などの老朽化対策				
	国直轄工事費負担金（北防波堤改良事業費）	老朽化した施設の機能回復のための改良工事 ・令和2年度 根固工（L=100m/港外） ※国直轄事業 令和2年度全体工事費 100,000千円（うち市負担 1.5/10=15,000千円）	15,000	産業港湾部
	色内ふ頭老朽化対策事業費	老朽化した色内ふ頭護岸の機能回復及び延命化のため、護岸改良工事を実施 ※その他下水道事業として651,400千円実施（事業費合計952,400千円）	301,000	産業港湾部
◎	若竹地区防波堤改良事業費	老朽化した防波堤の機能回復のため、防波堤改良工事を実施 ・令和2年度 実施設計及び地質調査 ・令和3年度以降 防波堤改良工事	20,000	産業港湾部
若者の地元定着に向けた就職支援				
	若者就職マッチング支援事業費	高校生や大学生などの就職率向上及び地元定着のため、市内企業の見学会や出前説明会、インターンシップ等を実施	2,600	産業港湾部
	労働者地元定着事業費	市内企業の労働実態調査や新規高等学校卒業者の就職状況調査のほか、企業、高校・大学、行政（市・ハローワーク）を結ぶ情報交換会を実施	200	産業港湾部

## IV

## 生活基盤が充実した安全で暮らしやすいまち（生活基盤）

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
<b>安全で快適な道路網の確保</b>				
	臨時市道整備事業費	市道の老朽化路線の更新、溢水対策などの道路改良 ・令和2年度予定箇所 塩谷線ほか全26路線	350,000	建設部
	橋りょう長寿命化事業費	「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、老朽化した橋りょうの修繕等を計画的に行い、長寿命化と維持管理コストの縮減を図る。 ・銭函高架橋 修繕工事、耐震化工事、設計業務 ・小樽内橋 撤去工事 ・銭函第一架道橋、栄橋 修繕工事 ・上朝里橋、真砂橋、地鎮社橋 設計業務	410,900	建設部
<b>空家等対策の推進</b>				
◎	空家実態調査事業費	市内全域の空家実態調査を実施し、次期空家等対策計画（令和3年度策定予定）の基礎資料とするとともに、空き家の流通促進等に活用する。	6,000	建設部
☆	空き家対策事業費	空家等対策会議の開催や危険な空家等に対する取組の推進のほか、新たに不動産関係団体と連携して、良好な空家等の流通促進を行う。	2,500	建設部
<b>移住促進の取組</b>				
	移住促進事業経費	居住地としての小樽の情報発信・PRを行い、潜在的な移住希望者の掘り起こしを行うとともに、首都圏での移住フェアや小樽体験ツアー等により個々の相談に対応する。	1,000	総務部
◎	移住・定住促進住宅取得費等補助金	三世同居や近居のために移住する方などに対し、5年以上居住することを条件に、中古住宅の取得及びリフォームに要する経費を最大100万円補助	3,000	総務部
<b>効率的な雪対策の推進 《関連公約 2-① 主要な路線を優先し、納得いただける除排雪を目指す》</b>				
	除雪費	冬期間における円滑な道路交通を確保し、市民の快適な冬の暮らしや経済活動を支えるため、ハス路線及び主要通学路を優先した、計画的で効率的な除排雪を実施するとともに、雪対策基本計画を令和2年12月までに策定	1,613,900	建設部
	ロードヒーティング更新事業費	老朽化したロードヒーティング施設を計画的に更新 ・令和2年度 高商通線、水産学校裏通線、公園通線	98,000	建設部
	建設機械整備費	安定的な除排雪体制確保のため、市所有の除排雪機械を計画的に更新・増強し、除排雪業務受託者に貸与 ・ロータリ除雪車1台更新	47,505	建設部
<b>中心市街地の整備 《関連公約 4-④ 小樽駅前地区の整備》</b>				
◎	小樽駅前広場整備推進経費	隣接する小樽駅前第1ビルで予定されている再々開発にあわせ、小樽駅前広場の再整備を進めるための基本計画を策定 ・令和2年度 検討委員会開催、整備案作成 ・令和3年度 基本計画策定	6,000	建設部
<b>新幹線を活用したまちづくり 《関連公約 4-⑤ 新幹線新駅と中心市街地との連携などの取組を開始》</b>				
◎	（仮称）新幹線活用アクションプラン策定推進事業費	北海道新幹線新小樽（仮称）駅の開業効果を活用したまちづくりを進めるため、官民一体となってアクションプランを策定	9,000	建設部
<b>効率的なまちづくりに向けて</b>				
◎	立地適正化計画推進経費	中心拠点と複数の地域拠点到都市機能が集約され、それらが交通ネットワークで結ばれた効率的なまちづくりを進めるための、「立地適正化計画」策定（令和4年度予定）に向け、先進都市事例調査等を実施	100	建設部
<b>適正な道路網の形成に向けて</b>				
◎	都市計画道路見直し推進事業費	長期未整備の都市計画道路の計画の必要性や事業の実現性等を検証し、変更・廃止を含めた見直しの方向性を検討	9,200	建設部

持続可能な交通ネットワークの構築 《関連公約 2-④ 公共交通ネットワークを維持》				
	地域公共交通活性化事業費	「地域公共交通網形成計画」に基づく市内公共交通の確保・維持に向けた施策を協議する協議会を開催するとともに、協議会が実施する施策に対して補助 ・市内バス路線図の作成など	2,000	建設部
◎	並行在来線対策調査費負担金	北海道新幹線並行在来線対策協議会が実施する函館本線（函館・小樽間）に係る旅客流動調査等に対する負担金	1,719	建設部
鉄道駅のバリアフリー化				
	鉄道駅バリアフリー化設備等整備事業費補助金	鉄道駅バリアフリー化のための施設整備に掛かる費用の一部を補助（補助率：国1/3、市1/3、事業者1/3） ・南小樽駅：こ線橋新設など	129,000	建設部
防災対策の推進 《関連公約 2-⑤ 市の体制整備を含め防災力を強化》				
◎	国土強靱化地域計画策定関係経費	大規模自然災害に対する事前防災・減災と迅速な復旧の指針となる、国土強靱化地域計画を策定	100	総務部
◎	防災関係経費（業務継続計画策定事業費）	災害発生時に一定の業務を的確に行えるよう、予め優先業務等を定める業務継続計画（BCP）を策定 ・令和2年度 被害状況の想定や課題抽出、原案作成等 ・令和3年度 策定	8,100	総務部
	防災関係経費（避難支援事業費）	河川の洪水や土砂災害のハザードマップを作成・配布する。令和2年度は、新たに6河川（蘭島・餅谷沢・塩谷・勝納・朝里・キライチ）の洪水ハザードマップを作成する。災害時に避難の支援が必要な方の名簿を作成し、関係機関と共有する。	4,500	総務部
☆	防災関係経費（防災訓練関係経費）	小樽市防災訓練や、町会で実施する避難訓練・図上訓練への支援に加え、新たに避難所運営訓練と冬季避難所宿泊訓練を実施	400	総務部
	防災関係経費（防災情報通信設備整備事業費）	災害時に地域の情報発信を行うFMおたるの難聴地域を解消するため、中継局等の設備を整備	103,000	総務部
	防災関係経費（防災行政無線（同報系）整備事業費）	津波や高潮の災害時に、沿岸の住民及び観光客等へ避難情報を迅速・確実に伝達するため、防災行政無線（屋外スピーカー）を整備 ・令和元年度完工分（蘭島～手宮）の運用開始 ・手宮～銭函の整備工事	155,000	総務部
消防力の充実強化				
	（仮称）消防署手宮支署建設事業費	手宮出張所と高島支所を統合して「（仮称）消防署手宮支署」を建設 ・建設工事 ・消防指令システムの改修工事 ほか	697,277	消防本部
	機動力増強・近代化事業費	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車1台の更新	63,000	消防本部
	消防・防災施設整備費	寄附を活用し、消防団第1分団に小型動力ポンプ付積載車を導入	13,000	消防本部
外国人や障害者への救急等の的確な対応				
◎	通信業務関係経費（多言語対応分）	外国人からの119番通報及び外国人の救急活動等における多言語対応のため、電話通訳センターを介した三者間同時通訳を導入	550	消防本部
◎	通信業務関係経費（聴覚・言語機能障害者対応分）	聴覚・言語機能障害者が、スマートフォン等の画面操作で円滑に119番通報を行える緊急通報システムを導入	730	消防本部
◎	多言語対応機器整備事業費	救急現場において外国人及び聴覚障害者との円滑なコミュニケーションを図るため、多言語音声翻訳アプリ（救急ボイストラ）を利用するタブレット型端末を高規格救急車全5台に導入	700	消防本部

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
<b>旧ごみ焼却場の解体</b>				
◎	旧ごみ焼却場解体経費	北海道新幹線新小樽（仮称）駅の整備に伴う、旧ごみ焼却場の解体 ・令和2年度 実施計画策定 ・令和3～4年度 設計、解体工事	13,000	生活環境部
<b>ごみ・資源物の適正処理</b>				
☆	収集運搬経費	一般家庭から発生するごみの収集運搬業務。自力でごみ出しができない世帯へのごみ収集と声かけを行う「ふれあい収集」の体制を強化	233,600	生活環境部
<b>公園整備の推進 《関連公約 1-① 子どもたちが安心して利用でき、癒される公園整備》</b>				
	都市公園安全・安心事業費	公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した公園遊具を地域住民のニーズを踏まえて更新 ・令和2年度 うたすつ公園、しらゆり公園、しあわせ公園等	34,600	建設部
<b>小樽公園の駐車場確保に向けて 《関連公約 4-① 公共施設の再編整備 4-② 市有財産の有効活用》</b>				
◎	旧緑小学校解体事業費	総合体育館なども含めた小樽公園利用者の当面の駐車場確保のため、旧緑小学校を解体する。 ・令和2年度～令和3年度 旧緑小学校解体工事	232,000	建設部
<b>歴史的建造物の保全と活用</b>				
	歴史的建造物保全及び景観地区内建造物修景等事業費助成金	景観条例に基づく「登録・指定歴史的建造物」の外観保全に要する経費の一部を助成	16,000	建設部
◎	旧寿原邸利活用推進経費	旧寿原邸を歴史的建造物の有効活用事例とするため、法人等との協働によりDIY手法を用いた修復や、文化芸術イベント等、保全及び活用事業を実施	1,376	建設部

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
<b>図書館、総合博物館、美術館の利活用の促進</b>				
☆	施設改修事業費（図書館）	図書館の老朽化対策の改修工事を実施 ・屋上防水改修、エレベーター更新、館内照明のLED化 （併せて、寄附による児童室・休憩コーナー等の改修を実施）	80,000	教育部
	施設整備事業費（総合博物館）	博物館本館の実験室空調設備及び非常用蓄電設備を更新	7,000	教育部
	収蔵車両等補修事業費	総合博物館が所蔵する鉄道車両の補修 ・令和2年度 蒸気機関車C55を予定	2,700	教育部
	特別展開催経費（美術館）	市民や観光客に、優れた美術に接する機会を提供 ・「池田良二 - 海霧の空間」 （令和2年5月23日～7月12日） ・「北前船の華 - 北海道に渡った九谷焼（小樽・後志編）」 （令和2年7月18日～9月22日） ・「余白の美 - 北海道の日本画家たち～小林稔コレクションとともに（仮）」 （令和3年1月16日～5月9日）	4,373	教育部
<b>文化芸術の振興 《関連公約 1-④ 文化、芸術に取り組む児童生徒の活動を支援》</b>				
◎	アート・ワークショップ推進事業費	アートの世界にいざなう参加・体験型のプログラムを実施 ・「ワンコイン・スタジオ」：地元で活躍する芸術家による作品制作教室など。参加料500円 ・「アートの扉」：市内小学3年生向けの、美術館学芸員による出前授業	170	教育部
◎	青少年文化芸術振興事業費	文化芸術分野の部活動等における全国大会等に出場する、市内在住の小・中・高校生に奨励金を支給 ・個人（1人当たり） 10,000円 ・団体（1団体当たり） 30,000円	100	教育部
<b>スポーツ施設の整備</b>				
◎	祝津ヨットハウス施設整備事業費	祝津ヨットハウスのオーバースライディングドアを交換修理	3,500	教育部
◎	入船公園庭球場整備事業費	入船公園庭球場の照明設備（制御盤等）の交換修理	1,900	教育部
<b>姉妹都市交流の推進</b>				
	姉妹都市提携委員会交付金	姉妹都市との相互交流事業を実施。 ・ナホトカ市の市政70周年記念事業に代表団を派遣 ・ソウル特別市江西（カンソ）区との姉妹都市提携10周年記念事業に代表団を派遣 ・ダニーデン市との姉妹都市提携40周年記念事業に代表団を派遣	5,400	総務部

## VII

## その他主要事業

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
<b>人口対策等の推進</b>				
	総合戦略推進事業費	人口減少の克服と地域活性化に向けた施策を推進するため、次期総合戦略を策定するとともに、進捗管理のためのアンケート調査を実施	400	総務部
<b>ホームページの利便性向上</b>				
◎	ホームページリニューアル経費	市ホームページを、スマートフォンでも見やすく、目的のページを探しやすくするなど、利便性の高いホームページへ全面リニューアル	8,500	総務部
<b>地域コミュニティ活動の拠点整備</b>				
	町内会館等建設助成金	富岡公民館、オタモイ会館及び砂和会館の改修工事費の一部を助成	13,920	生活環境部
<b>公共施設等の老朽化対策と将来に向けた最適化 《関連公約 2-⑥ 公共施設のバリアフリー化 4-① 公共施設の再編整備》</b>				
	個別施設計画策定事業費	集約化や複合化などにより公共施設の再編を示す「公共施設再編計画」及び公共施設の適正な維持管理を進める「長寿命化計画」を策定	5,400	財政部
◎	葬斎場再整備事業費	令和2年度からの火葬炉使用料の有料化に合わせて計画的に大規模改修を行い、施設の延命化を図る。 ・令和2年度 待合ロビー改修、控室バリアフリー化、冷房設備改修ほか	52,000	生活環境部
◎	合同墓拡張整備事業費	合同墓の納骨スペースを増設し、埋蔵可能容量を拡張	7,200	生活環境部
◎	小樽商業高校施設等取得費	国立小樽海上技術学校の移転・短大化（令和3年4月開校）及び市の公共施設再編のため、小樽商業高校の敷地及び施設を取得 ・令和2年度～令和11年度債務負担額 計200,000千円	19,189	総務部
<b>国勢調査の実施</b>				
☆	国勢調査費	国及び地方公共団体における各種施策その他の基礎資料となる、人及び世帯に関する全数調査を実施	65,000	総務部
<b>ふるさと納税の推進</b>				
☆	ふるさと納税関係経費	「ふるさと納税」制度による寄附者へのお礼として地場産品を贈呈する。掲載先のポータルサイトを1サイトから3サイトへ拡充する。	68,000	財政部

## 市長公約一覧

## 1 次世代をつくる

## 安心して子どもを産み育てることができ、すべての子どもたちが能力や可能性を発揮できるまちづくり

- ① 子育て世帯に寄り添い、安心して産み育てる環境づくりのため、子育て世代包括支援センターの設置や保育環境の整備に取り組み、子どもたちが安心して利用でき、癒される公園の整備を進めます。
- ② 不登校問題や障がいをかかえる子どもをお持ちの家庭に寄り添い、支える体制を整えます。また、生活困窮世帯の子どもに対し学習支援を実施し、学習機会の提供による学力や学習意欲の向上を支えます。
- ③ 専門的な知識を持った外部人材を積極的に登用するとともに、スクールカウンセラーなどの拡充配置、教育機器の整備など、教員の働く環境や児童生徒の学習環境の改善に努めます。
- ④ 文化、芸術、スポーツに取り組む児童生徒の活動を支援し、豊かな感性を育み、潜在的な可能性を引き出す教育環境づくりを進めます。
- ⑤ 少子化に伴う小・中学校の統廃合の考え方を示した適正配置基本計画を社会状況や教育環境の変化、さらには、地域における学校の役割などまちづくりの観点を踏まえて議論します。

## 2 安全をつくり、安心を生む

## すべての市民が健康で、生きがいと夢を抱きながら、安心・安全に暮らすことができるまちづくり

- ① 近年、降雪期が早まっていることから「除雪対策本部」の設置を前倒して、バス路線やスクールゾーンなどの主要な路線を優先し、市民の皆さんに納得していただける除排雪を目指します。
- ② 高齢の方が地域社会との接点を持ち、健康寿命を延ばし、元気に生活できる生涯現役社会を目指します。
- ③ 高齢者の外出支援のための「ふれあいバス」は、利用者、バス事業者の話を聞きながら継続します。
- ④ 「通院」や「買い物」の足を守るためJR、バス、タクシーなどの公共交通ネットワークを維持します。
- ⑤ 災害による人的被害軽減のため、町会の防災訓練を支援し、迅速で的確に避難行動がとれるよう、市の体制整備を含め防災力の強化を図ります。
- ⑥ 高齢者や障がいを持った方々が安心して利用できるように公共施設などのバリアフリー化に取り組みます。
- ⑦ 福祉、医療、介護などの相談窓口を一本化した総合相談窓口を新設します。
- ⑧ 高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、「地域包括ケアシステム」を構築し、福祉、医療、介護等が連携した支援に取り組みます。
- ⑨ 高齢者や障がい者の権利を守るため、地域の官民が一体となったネットワークをつくり、相談支援の強化を図ります。

## 3 にぎわいをつくる

豊かな自然や歴史・文化を活かし、市民に根ざした観光のまちづくり  
地域経済を支える中小企業が元気に事業を続けることができるまちづくり

- ① 農業や水産業による一次製品の付加価値を高め、ブランド化を進めるとともに、新商品の開発を支援し、物産展や展示会などを通じて国内外に販路の拡大を進めます。
- ② 商店街や市場の特性を活かし魅力づくりを進めるとともに、小樽を訪れる観光客の回遊性を高めるなど中心市街地のにぎわい形成に努めます。
- ③ 市内経済の活力を維持するため、新規開業や事業承継を支援するなど市内の中小企業、小規模事業者の振興策に取り組みます。
- ④ 札幌市との連携協定を結ぶなど経済交流を強化するとともに、後志の町村との連携を促進します。
- ⑤ 国内フェリー航路や中国との定期コンテナ航路を堅持するとともに、国が進めるロシアと日本との経済協力における役割の一端を担い、輸出入を通じて小樽港の振興を図ります。
- ⑥ 市街地に近接するなどの小樽港の立地特性を活かし、クルーズ客船の誘致を積極的に進め、「みなと観光」の新たな魅力づくりに努めます。
- ⑦ 外国人向けの多言語表示、ホスピタリティ意識の向上、観光地周辺の除排雪の徹底など安心で安全な国際観光都市を目指します。
- ⑧ 基幹産業である観光の更なる拡充のため市内観光関連組織の見直しを検討するとともに、国際観光都市小樽として外国人観光客の受け入れ態勢の強化を図ります。
- ⑨ 歴史的な街並みを活かし、旧国鉄手宮線、北運河と第3号ふ頭を一体的に整備するとともに、日本遺産登録された北前船寄港地としての魅力を発信し、小樽の新しい観光拠点づくりを進めます。
- ⑩ 市街地から至近距離にある天狗山や朝里川温泉地区の魅力をアピールし、夏冬通して利用可能なりゾート地として更に充実するよう開発を支援します。

## 4 未来をつくる

## 公共施設や小樽駅前、小樽港の整備、新幹線の活用など、人や物が活発に交流するまちづくり

- ① 市役所庁舎や市民会館など老朽化し耐震強度が不足している公共施設を、市民の皆さんのご意見を聞きながら計画的に再編整備を進めます。
- ② 廃校や用途が廃止された施設、土地などの市有財産を地域の発展のため有効活用を図ります。
- ③ 福祉センター、女性センター、生涯学習プラザ、さらには自立した高齢者の活動拠点など、生きがいづくりや生涯学習のための機能を集約するよう再編整備を進めます。
- ④ にぎわいによる街の活力を維持するため民間の力を活用し、小樽駅前地区や小樽港第3号ふ頭の整備を進めます。
- ⑤ 新幹線の駅周辺の開発や中心市街地との連携など、まちづくりに向けた具体的な取り組みを開始します。
- ⑥ 体育館、プールなど市民の健康増進と子供たちのスポーツ振興に寄与する体育施設の整備を計画的に進めます。